

# サウジ産LPG、高値続く

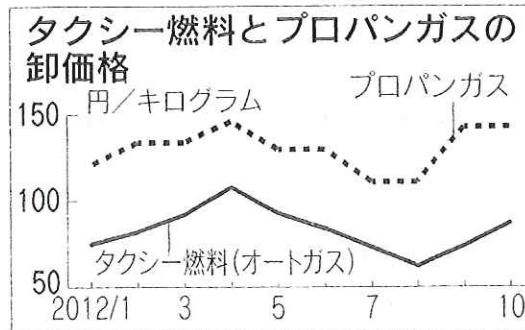
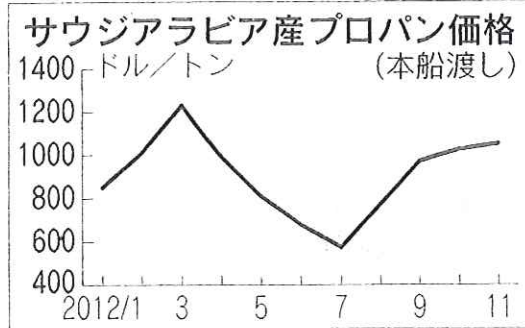
## 家庭用プロパンなど 値上げの公算

サウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコは31日、液化石油ガス（LPG）の日本向け11月積み輸出価格を引き上げると需要家企業に伝えた。サウジ産の家庭用プロパンガスは4カ月連続の値上がりで8カ月ぶりの高値水準となった。タクシー燃料や給湯・調理用の燃料になるLPGの国内価格に波及するのは必至。消費者や企業の燃料費負担は増えそつだ。

### 需要期迎え在庫も低水準

サウジの日本向け輸出価格はカタールやアラブ首長国連邦（UAE）な

ど他の中東諸国が輸出するLPGの価格指標にもなる。日本は国内供給の7割程度のLPGを輸入に頼っている。残りの3割は輸入した原油を国内製油所で精製する際に生産される。



サウジ産の11月積み価格は家庭用燃料に使うプロパンガスで1ト1050ドル（本船渡し）と前月比25ドル（2%強）上がった。産業用燃料のブタンガスは1ト990ドルと同等高い。11月積みの日輸出価格は12月の国内価格に反映される。給湯などに使うプロパンは冬場の需要期前に在庫水準が低い。日本LPGガス協会（東京・港）がまとめた9月末時点の流通在庫は35万ト弱と前年同期比で39%少ない。市場では「需要期直前の10月に入り、価格は今後

下からないと想定して中東諸国から輸入量を増やした」（LPG元売り）との見方がある。カタールの生産設備での定期修理の影響でLPGの供給減も続いている。「スポット市場では底値（安値）で買う傾向が強い」（LPG元売り）という中国も輸入を増やしており、需給は縮まっている。

家庭用のプロパンガスにも影響しそつ

LPGを原料に使うタクシー燃料の「オートガス」は1キログラム87円（スタンド渡し、ローリー届け）で8月の直近安値に比べ4割高い。プロパンの卸価格も1キログラム143円と同29%上昇している。10〜11月積み日本向

け輸出価格の上昇を受け、LPG卸会社は「為替相場もやや円安に振れており、今後も国内でLPGガスの値上げをせざるを得ない」と説明している。